

## 平成30年度各部の重点取組の取組結果

部(局)名	会計室
部(局)長名	岩田 恵

### 【基本姿勢】

公金の支出内容が適正であるか審査するとともに、適正な執行・管理に努めます。  
 また、企業会計に準じた発生主義・複式簿記による財務諸表を活用し、従来からの官庁会計だけではわかりにくかった財政状態や行政運営にかかる財務情報を明らかにするとともに、市民にわかりやすく、積極的に開示していきます。

### 【達成度について】

- A：達成（設定した目標を達成することができた。）
- B：一部達成（設定した目標の一部のみ達成することができた。）
- C：未達成（目標達成に向け取り組んだものの、目標達成には至らなかった。）

### 【重点課題】

	重点課題	平成30年度 達成状況
1	適正な予算執行と公金の適正な管理	A
2	企業会計基準に準じた財務諸表の整備と財務情報の開示	A

部(局)名	会計室
-------	-----

重点課題 1	適正な予算執行と公金の適正な管理
--------	------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	信頼性の高い市政の確立のために、予算の執行が法令を遵守し、適正に行われているかを厳正にチェックするとともに、公金の適正な管理、公正な会計事務の確保に努めます。
---------------------	---

活動目標
予算の執行手続きが、法令等に基づき適正に行われているか審査するとともに、迅速な会計事務を行います。
公金管理は、安全性を最優先とし、指定金融機関の決済用預金に保管します。

具体的な取組実績
各室課の経理担当者を対象に、会計事務研修を実施しました。また、審査担当者間での情報共有、再確認事項の周知などについて、定期的に職場会議を行いました。
公金管理については、指定金融機関の決済用預金に保管しました。

達成目標
日常の会計審査とともに審査事例の検証を行い、会計室職員の審査能力の向上を図り、より正確かつ迅速な会計事務を行います。
特定の目的のために積み立てている基金は、確実な運用に努めます。

達成状況	達成度
日々の会計審査を迅速に行いながら、定期的に職場会議を実施し、また、外部研修に参加することで審査能力の向上を図りました。	A 達成
積立基金に属する保管中の現金については、指定金融機関からの借入額の総額を限度として定期性預金に預ける等、確実かつ効率的な運用を行いました。	A 達成

総合評価・総括
<p>審査業務については、業務範囲が広く、かつ深い知識が求められることから、情報を共有するための職場研修や外部研修に参加することで、審査能力の向上を図り、適正な予算執行に努めました。</p> <p>積立基金に属する現金については、低金利の状況が続いている中で、安全かつ確実な定期預金等の方法により、適切な保管をすることができたと考えます。今後も安全性を最優先とし、少しでも有利な方策を模索しながら保管中現金の適切な運用に努めます。</p>

部(局)名	会計室
-------	-----

重点課題 2	企業会計基準に準じた財務諸表の整備と財務情報の開示
--------	---------------------------

全体の達成度
A
達成

目指すべき方向 (中期的な目標)	事業の財務マネジメントの実践と説明責任のより一層の充実に資する財務諸表を整備し、財務情報を積極的に開示します。
---------------------	---

活動目標
新公会計システムにより、迅速かつ簡便に財務諸表を作成し、施設単位などで財務情報を比較分析することで、市民にわかりやすく説明します。
職員の財務諸表分析能力の向上を図るため、会計の専門家による研修を実施します。

具体的な取組実績
平成29年度財務諸表を、「各会計合算」、「会計別」、「事業別」で作成しました。施設単位での財務情報を比較分析することはできませんでした。が、事業別財務諸表では、事業に係る収入や費用、資産や負債の情報のみならず、事業の成果や分析結果を踏まえた課題を市民にわかりやすく説明するとともに、次年度以降の事務改善につなげられるようにしました。
事業別事務諸表を事業マネジメントに活用するための具体的な分析手法について、管理職職員対象に、新公会計制度に精通する公認会計士を講師に研修を実施しました。また、新公会計実務担当者向けには、基礎知識の向上と決算整理事務の迅速かつ正確に処理することを目的に、会計室職員による実務研修を実施しました。

達成目標
平成29年度に引き続き、発生主義・複式簿記による財務諸表を平成29年度決算の参考資料として、議会に提出するとともに、本年度からは施設単位などの財務情報もホームページ等でも広く市民に開示します。

達成状況	達成度
財務諸表を決算の参考資料として議会に提出しました。その内容をホームページで公表し、市報すいたで概要版を掲載し、概要版リーフレットを作成して広報に努めました。第4次総合計画の施策体系に合わせるため単位の整理を図り、また、検討資料の一つとして行政評価事務事業との対応表を作成しました。	A  達成

<b>総合評価・総括</b>
<p>財務諸表の整備につきましては、財務諸表を使った事業マネジメントの実践と市民の皆様への説明責任の充実に資するための取組として、庁内の推進体制を維持し、本市の財務状況について報告をするなど、情報共有を図ることができました。</p> <p>また、財務諸表に係る研修を通じて、職員の知識の向上、財務諸表の分析能力の向上等、職員の意識改革の啓発に努めたほか、事業所管課による事業別財務諸表の分析及び説明内容のレベルも概ね評価できる内容であったと考えています。</p> <p>今後も引き続き、財務諸表を事業マネジメントに活用できるように、職員全体の財務諸表分析能力の向上に努めるとともに、費用対効果の検証やロスの削減など、職員一人ひとりの意識改革に努力していく必要があります。</p>